

市会案第 1 号

ロシアによるウクライナへの侵攻に断固抗議する決議について

ロシアによるウクライナへの侵攻に断固抗議する決議について別紙のとおり提出する。

令和 4 年 3 月 9 日提出

提出者	鯖江市議会議員	平岡	忠昭
賛成者	鯖江市議会議員	木村	愛子
賛成者	鯖江市議会議員	遠藤	隆
賛成者	鯖江市議会議員	菅原	義信
賛成者	鯖江市議会議員	山本	敏雄

提案理由

ロシアに対し、ウクライナへの侵攻、軍事行動を直ちに中止するよう求めるとともに、現地在留邦人の安全確保に努めるとともに、国際社会と緊密に連携しつつ、毅然たる態度でロシアに対して制裁措置の徹底及び強化を図り、即時無条件でのロシア軍の撤退を求めよう政府に要請するため、この案を提出する。

(提出先)

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
外務大臣  
財務大臣  
経済産業大臣  
国土交通大臣  
防衛大臣  
内閣官房長官

## ロシアによるウクライナへの侵攻に断固抗議する決議

本年2月24日からのロシアのウクライナへの侵攻は、国連憲章に違反し国際社会の平和と安全、秩序を著しく損なう暴挙であり断じて許すことはできない。

この軍事侵攻は、多数の民間人を含む人々の命を奪い、ウクライナの主権や人々の自由、生命を踏みにじる行為であり、ウクライナに拠点を置く日本企業をはじめ現地在留邦人の生命が危ぶまれている。

また、ウクライナの原子力発電所および、その関連施設を砲撃したことは、明らかな国際法違反であり、このような極めて危険な武力行使は決して許されるものではない。

日本においては、同様な行為に対する原子力規制は想定外としている現状の中、原発立地県内にある本市として、このような事態は、事故以上に大規模な被害となることを考えると非常に憂慮すべき事態であり、到底看過できないものである。

ここに本市議会は、ロシアによるウクライナへの侵攻、軍事行動を直ちに中止し、現地在留邦人の安全確保はもとより、国際社会と緊密に連携しつつ、毅然たる態度でロシアに対して制裁措置の徹底と強化を図り、即時無条件でのロシア軍の撤退を求めるよう政府に強く要請する。

以上、決議する。

令和4年3月9日

福井県鯖江市議会